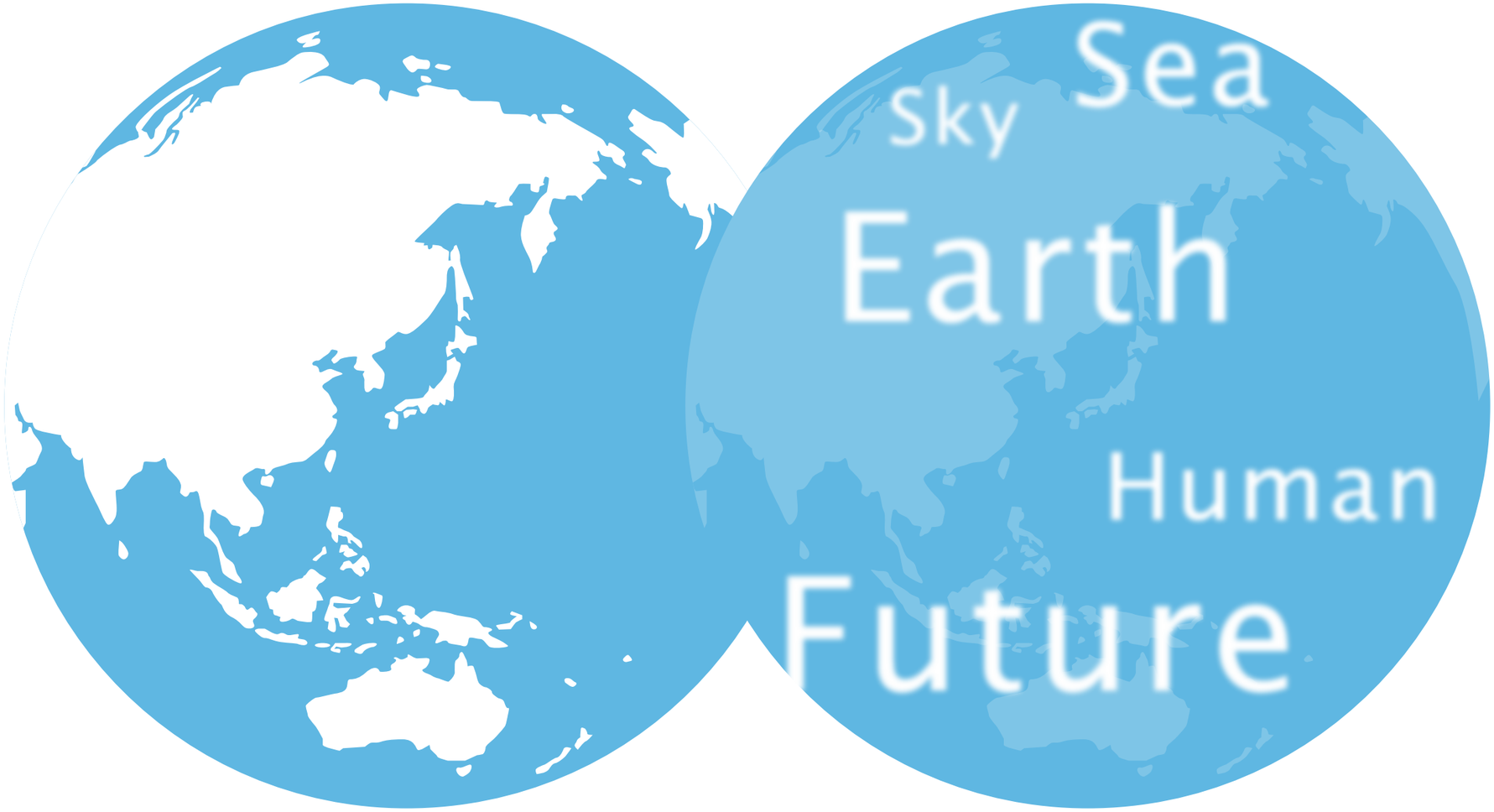
持続可能な 地域社会の 実現に



うみ
そら
だいち
ひと
みらい

CORPORATE PROFILE

ホームページ　https://www.kankyo.or.jp

公益財団法人 岡山県環境保全事業団

発行日　2023年11月1日

わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します

私たち公益財団法人岡山県環境保全事業団は、岡山県内において、行政施策と協調し、環境保全のための各種事業に幅広く取り組んでいます。それにより快適で持続可能な地域社会の実現に貢献・寄与することで地域で最も必要とされる組織を目指します。

「持続可能な地域社会」の実現に貢献・寄与する 4つの事業領域

理事長あいさつ

公益財団法人 岡山県環境保全事業団
理事長　三宅 博文

私たち岡山県環境保全事業団は、1974年（昭和49年）に設立され、「地球環境の保全」、「良好な生活環境の確保」、「資源循環型社会の形成」及び「自然共生社会の形成」など、快適で持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的とし、行政施策と協調しながら多様な事業に積極的に取り組んでいる公益財団法人です。

世界的な気候変動、プラスチック問題などを通して環境への意識は変化しており、2050年カーボンニュートラル宣言、SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)への関心の高まりなど、私たちが果たしていく使命はますます重要になってきていると考えています。

2021年度から取組みを開始した「第6期 中期経営計画」では、地域社会の一員としてSDGsの達成に貢献することを新たな理念として加え、「廃棄物処理処分事業の継続性確保と資源化事業の推進」「環境調査事業の生産性の向上」「環境経営の推進と環境啓発・環境学習事業の深化と拡大」「強固な経営基盤の確立」「組織力の強化」の5つの中期経営目標の達成により、岡山県を中心とした地域社会の持続可能性向上に貢献することを掲げております。

当事業団の経営理念「わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します」を念頭に多様な事業を展開し、皆様方のご期待に応えられるように、全職員が同心協力し努力を続けていく所存ですので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

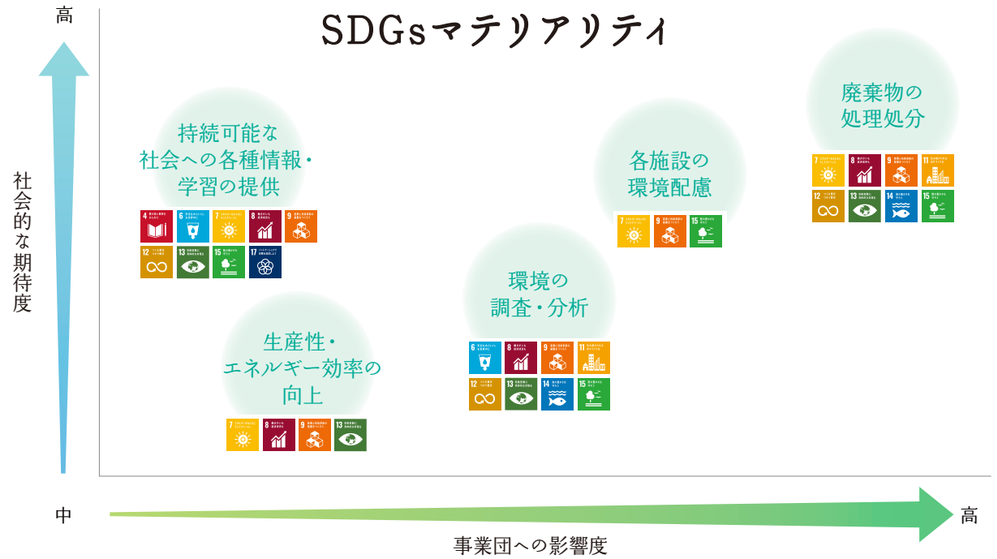
Step.1
17のゴールと169のターゲットのうち、事業団事業と関連性が高いゴールとターゲットを抽出
●17ゴール→11ゴール
●169ターゲット→37ターゲット

▶

Step.2
「事業団への影響度」「社会的な期待度」の2軸でターゲットを評価し、特に重要度の高いターゲットを絞り込み
●37ターゲット→19ターゲット

▶

Step.3
絞り込みを行った11ゴールと19ターゲットを重要課題として中期経営計画に反映



資源循環型社会の形成

資源循環型社会の形成のために、廃棄物の適正処理と意識啓発を推進しています。

廃棄物処理処分事業

廃棄物の受け入れから処理処分まで、一貫した管理体制で厳しくチェックしています

産業活動の円滑な推進、県民の生活環境の保全及び福祉の増進に寄与するため昭和54年度から廃棄物の埋立を開始し、廃棄物の適正かつ安全な埋立事業（第1処分場・第2処分場）を行い、埋立に伴い発生する浸出水は、高度な処理施設により適正に処理しています。また、埋立跡地には、水島クリーンセンター、みずしま資源再生センター、倉敷市資源選別所等の環境関連施設を整備・運営するとともに、事業所全体で、太陽光発電・風力発電・緑地整備にも取り組んでいます。

水島事業所全景

廃棄物の受け入れから処理処分までの概要

1 受入審査
水島事業所の受付に申込書を提出。書類審査及び現地審査を行います。

2 搬入管理
廃棄物の計量、性状の目視検査、抜き取り検査などを行います。

3 処理処分
適正かつ安全に処理処分します。

4 環境保全
浸出水、排ガス等は高度な処理施設により適正に処理しています。

事務所

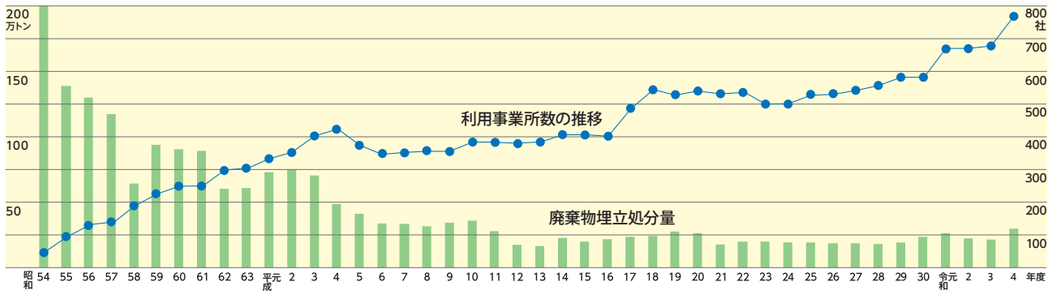
事務所屋上の太陽光発電、風力発電

水島埋立処分場

水島埋立処分場では、将来にわたる生活環境の保全と産業の発展を図るため、岡山県が策定した「公共関与臨海部新処分場基本構想」をもとに、公共関与による安全性、信頼性の高い産業廃棄物処分場としての管理運営を行っています。

施設概要		
施設の種類	管理型最終処分場	
設置場所	岡山県倉敷市水島川崎通地先	
名称	第1処分場（終了）	第2処分場
供用開始	昭和54年4月	平成21年4月
埋立面積	約96万㎡	約23万㎡
埋立容積	約1,300万㎥	約460万㎥

廃棄物埋立処分量と利用事業所数の推移



廃棄物埋立処分量は、廃棄物の発生抑制や再生利用といった企業努力等により、平成28年度まで減少傾向でしたが、平成29年度から増加傾向に転じており、特に平成30年度及び令和元年度は、平成30年7月豪雨による多量の災害廃棄物受入の影響を受けました。一方、利用事業所数は、水島埋立処分場の運用開始当初から増加傾向となっており、近年は700を超える事業所にご利用いただいています。

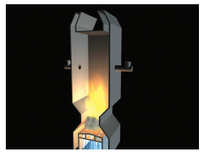
水島クリーンセンター

資源の有効利用を考えた環境にやさしい設備です

下水汚泥と高カロリーの廃プラスチック類を混焼することにより廃棄物の減量化・安定化を図るとともに、汚泥焼却に係る燃料を節約し、さらに焼却にともない発生するガスは、高度な排ガス処理設備により処理されています。

汚泥プラットホーム

廃プラスチック類ピット


旋回型流動床焼却炉

施設概要	
施設の種類	流動床式連続焼却施設
設置場所	岡山県倉敷市水島川崎通1丁目18
併用開始	平成11年4月
焼却能力	下水汚泥 209t/日、廃プラスチック類 66t/日
発電能力	1,200キロワット

みずしま資源再生センター

焼却灰を土木資材等にリサイクルする施設です

燃え殻・ばいじん等の焼却灰を1,000℃以上の高温で焼成することにより有害物質を分解・無害化し、土木資材などに再利用する施設です。これまで埋立処分又は県外でリサイクルされていた焼却灰を県内でリサイクルすることで、廃棄物の遠距離運搬に伴う環境負荷の軽減や最終処分場の延命化にもつながります。

焼却灰

ロータリーキルン式焼成炉

焼成品

施設概要	
施設の種類	ロータリーキルン式焼成炉
設置場所	岡山県倉敷市水島川崎通1-20-2
併用開始	令和5年10月
施設能力	混合灰 153.6t/日、燃え殻 144.0t/日、ばいじん 164.6t/日

倉敷市資源選別所

倉敷市から管理運営を受託し、倉敷市の家庭から出されたびん・蛍光灯を資源として再利用するために選別をしています。

施設見学の受け入れ

廃棄物処理処分の流れを、グループ単位で見学することができます。安全かつ適正に処理するための取組みを見ていただけます。

見学できる施設
- 水島埋立処分場
- 水島クリーンセンター
- 倉敷市資源選別所

見学に関する問い合わせ先
水島事業所
〒712-8074 倉敷市水島川崎通1-18
TEL.086-440-0666 FAX.086-444-2933

その他の資源循環事業

廃棄物の処理処分を行うだけではなく、持続可能な地域社会を構築するため、資源の循環にむけた取組みを行っています。

岡山県循環資源総合情報支援センター

平成16年3月に岡山県の指定を受け、事業者や県民へ、廃棄物等の発生抑制・循環的な利用・適正処分、循環型社会形成に関する情報などをインターネット等により無料で受発信しています。

「循環資源マッチングシステム」
循環資源（廃棄物）の提供事業者と利用事業者の情報を公開・マッチング（斡旋）し、有効利用を促進するシステム

「リサイクル情報システム」
リサイクルに関する技術・施設・製品の情報を提供するシステム

登録に関する問い合わせ先　岡山県循環資源総合情報支援センター 〒701-0212 岡山市南区内尾665-1　TEL：086-298-1239、FAX：086-298-2496

良好な生活環境の確保

環境に関する総合調査機関として、安全で良好な生活環境の維持・創造の基礎となる環境情報を提供しています。

環境調査

岡山県で第1号の環境計量証明事業所であり、昭和49年の事業開始より公的役割を担う環境調査機関として培ってきた技術と経験をもとに、種々の環境問題に解決策を提供し、多様化する社会ニーズに応えています。

環境アセスメント

大規模な開発事業や廃棄物処理施設の設置等の際に必要となる環境影響評価について、実施計画の策定から、現地調査、予測評価（数値シミュレーションなど）、環境保全対策の立案までを一貫して行っています。

土壌汚染調査

土壌汚染対策法に基づき環境省の認定を受けた指定調査機関として、法的又は自主的な調査計画の立案を行い、現地調査・試料の分析・調査報告書の作成等を行っています。

分析測定

分析測定事業では、信頼と品質を基本として、年間約7,000検体の依頼に応えています。

廃棄物分析

産業廃棄物の適正な処理処分のため、豊富な経験と技術をもとに、カドミウムや鉛をはじめPCBといった有害物質の分析を行っています。

水質分析

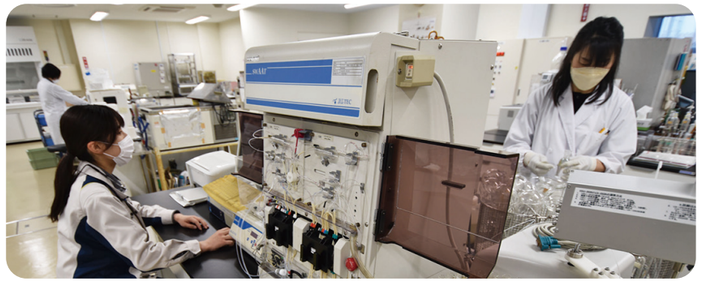
河川・湖沼・海域等の環境水や事業場等の排水について、CODや栄養塩・有害物質・プランクトン等の分析、現場での水質調査を行っています。

騒音・振動測定

事業場・建設作業・道路交通等から発生する騒音・振動について、調査目的や現場の状況に合った調査方法を立案し、正確な測定結果を提供しています。

その他各種分析測定

窒素酸化物等の大気汚染物質、アンモニア等の悪臭物質、肥料・石灰等の製品中の有効成分、近年問題となっているPFOS・PFOAや絶縁油中の低濃度PCBなど、多様なニーズに応えるべく各種分析測定を行っています。



自然共生社会の形成

優れた自然環境の保全や身近な自然の保護保全、生物多様性の確保、緑の保全創出を行っています。

生物調査事業

岡山県の自然環境を隅々まで熟知した専門スタッフが、野生動植物等の生息生育情報をきめ細かく調査し、貴重種のモニタリングや、環境アセスメント等における確度の高い影響予測と保全対策の立案を行っています。また、自然環境関連事業として、ビオトープ管理や野生鳥獣の保護対策支援、県内レッドデータブックの作成支援等を行っています。

環境緑化

景観や機能に優れた緑を創る設計施工から、快適で良好な緑を育む維持管理に至るまで幅広いニーズに対応しています。さらに、地球温暖化防止、資源循環や循環型社会形成などの時代と社会のニーズに対応した環境緑化コンサルティングを行っています。また、緑をとおしての環境学習などにより、緑に対する意識の高揚や普及啓発を行っています。

岡山県自然保護センター管理運営

「岡山県自然保護センター」の指定管理者として、自然とのふれあいを通じて、県民の自然への理解を深め、自然保護についての認識を高めることを目的に管理、運営を行っています。自然体験のできるフィールドや生物調査で培った専門的な知識を生かし、環境教育、フィールド整備、タンチョウ飼育、調査研究に取り組んでいます。

環境教育・企画・イベント開催

敷地面積100haに広がる豊かな里山の自然を生かし、四季折々に応じた多様なイベントを行っています。多くの方が楽しめるように工夫した体験型の企画展示や、自然への理解をより深めることのできる講座を開催しています。

フィールド整備・タンチョウ飼育

センターには虫の原っぱ、湿生植物園、昆虫の森、野草園などの多様な自然があります。この里山の自然豊かな多様性を維持するために、フィールド整備を行っています。また、国の特別天然記念物であるタンチョウの飼育を行っています。

地球環境の保全

環境学習事業を中心に、広く環境の大切さや、それを守る方法を伝え、人材の育成などを行っています。

環境学習

将来世代に今以上の豊かな地球環境、地域環境を残すことを使命に、環境学習事業では、年間350件を超える出前講座の実施やエコツアー、イベントの開催など積極的な活動を行っています。

出前講座（講師の派遣）

岡山県との協働のもと、地球温暖化や身近な環境保全を中心に、小中学校や地域団体などに対し、様々な啓発活動を行っています。また、多様な環境学習のニーズに対応するために、環境学習指導者養成講座を実施したり、NPO等の環境団体との協働により、積極的に環境学習出前講座の講師派遣を行っています。

イベント・学習会

物作りや体験型のイベントや学習会を行っています。これらは、「見て、触れて、感じて」をコンセプトに企画しており、多くの方が環境について考え、行動に移すためのきっかけづくりとなるよう実施しています。

エコツアー

エネルギーや自然、ごみ（3R）など様々なテーマで、施設を見学したり、フィールドへ出向き自然体験や環境について学ぶエコツアーを実施しています。

環境セミナー

地球温暖化防止・環境問題等の普及啓発を図ることを目的に、環境に関する最新の情報を提供しています。

環境情報等の提供・発信

環境に関する情報を分かりやすく、楽しく読んでいただけるように編集した冊子「環境」を年4回（春、夏、秋、冬）発行しています。（購読無料、要申込）

環境学習プラザ「アスエコ」

環境学習プラザ「アスエコ」は、（公財）岡山県環境保全事業団が環境の大切さを知るために設置した、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。「学べる地球儀（スフィア）」を導入しているほか，様々な環境についての新しい発見や，心が動く体験をイベントや展示で企画しています。

●学べる地球儀 スフィア

地球の過去、現在、未来の統計データやリアルタイムの観測データを映し出す最新型デジタル地球儀

●スペシャルイベント

環境問題を学べる課外学習やものづくり体験

●企画展示

未来の食料展ほか、水族館などを開催

●常設展示

環境マーク探検ビンゴなど

●図書コーナー

環境に関する書籍など

SDGsの啓発

SDGsに関する情報の提供やプログラム開発、講座の実施も行っています。

- 講師派遣、出前授業
- プログラム開発
- 中学生向けのSDGs未来教室

岡山県地球温暖化防止活動推進センター運営

2002年5月30日に県知事の指定を受け、岡山県地球温暖化防止活動推進センターの運営を行っています。

啓発・広報、活動支援

各地で開催される環境イベントで、地球温暖化防止活動推進員と共に環境保全の大切さを訴えています。また、推進員に対して啓発資材の提供や研修会の開催などの活動支援を行っています。

エコアクション21中核地域事務局

エコアクション21の認定・登録の支援を通じて、事業者の皆様の環境活動普及に取り組んでいます。

エコアクション21
地域事務局1-060

エコアクション21とは

環境省の「エコアクション21ガイドライン」に基づいて環境経営のしくみを構築・運用している**事業者を認証・登録する制度**です。登録事業者の9割が100人以下の事業者で、中小事業者にも取り組みやすいしくみとなっています。全国で約7,500社、県内では105社の事業者がエコアクション21に取り組んでいます。

エコアクション21認証・登録業務

地域におけるエコアクション21制度の認証・登録に係る業務を実施します。審査申込の受付や、審査員の選任、環境に関する専門家や学識者による判定委員会を開催し、認証登録の可否を判定します。

エコアクション21制度の普及啓発

普及啓発セミナーや勉強会の開催、自治体への働きかけを行い、エコアクション21制度の普及や支援を行っています。

相談受付

エコアクション21に関する相談を受け付けています。

Q.エコアクション21の特徴は？

エコアクション21はISO14001と比較して、認証・登録費用が**安価**であること、審査の際にはガイドラインへの適合性だけでなく、**審査員の指導やアドバイスを受けられること**が特徴として挙げられます。

Q.エコアクション21の導入効果は？

- SDGsに貢献できる
- 脱炭素の取組につながる
- 経営事項審査等の加点となる
- 自社PRになる
- コストダウンにつながる
- 優良産廃処理業者条件を満たせる
- SDGsの取組等アドバイスをもらえる
- 事業継続性が高まる
- 人材採用面で有利になる

津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ運営

津山市内に整備された津山圏域クリーンセンター（ごみ焼却・リサイクル処理施設）管理棟内に、環境学習の拠点として設けられた津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザの管理・運営を受託しています。リサイクルプラザでは、持続可能な社会の構築に必要な“人”の育成をコンセプトに、資源の有効活用やごみの減量化、リサイクルの推進に関する普及啓発や各種環境学習の推進など様々な活動を行っています。

リユースコーナー

圏域内のご家庭にある使わなくなった家具や衣類などを譲り受け、修理工房で、清掃、点検した後にリユース品として提供、販売しています。

環境学習・体験イベント

施設では、リサイクルに関して学ぶことができたり、夏のエコイベントや秋のリサイクルフェアなどの各種イベントを実施しています。

施設見学

ごみ処理施設を見学し、私たちの出したごみがどのように処理されているのか、資源ごみが分別されている様子などを見て、知っていただくことで、環境について考える機会を提供しています。

事業団概要

概要

出捐状況　地方自治体　6
企業　45
企業組合等　5　計56団体

出捐総額　16億2,650万円

役職員数　評議員　14名
理事　10名
監事　3名
職員　119名
（令和5年11月1日現在）

沿革

昭和49年3月26日（1974年）	事業団設立準備委員会発足（岡山県環境部内）
昭和49年10月1日（1974年）	財団法人岡山県環境保全事業団を設立し、本部を岡山商工会議所ビル内に置く
	緑化事業・環境保全サービス事業開始
	環境調査事業開始（株式会社クラレ倉敷工場・同中央研究所内）
昭和50年3月1日（1975年）	大気環境測定機器保守管理業務開始（岡山県公害防止センター内）
昭和51年1月17日(1976年)	計量証明事業所登録（濃度、騒音、振動）、岡山県第1号。
昭和52年4月15日（1977年）	産業廃棄物埋立処分場建設工事着手（第1処分場）
昭和54年4月2日（1979年）	産業廃棄物埋立処分開始、水島管理事務所発足
昭和58年10月1日（1983年）	事務所を岡山市内尾に新築し、全部門を集約
昭和59年3月16日（1984年）	下水汚泥中間処理事業開始（セメント固化事業）
昭和61年10月22日（1986年）	第1処分場第1工区埋立竣工（254,580平方メートル）
昭和62年8月1日（1987年）	寄島干拓地整備事業開始
平成元年11月24日（1989年）	下水汚泥新中間処理場完成
平成5年9月24日（1993年）	第1処分場第2工区埋立竣工（342,000平方メートル）
平成7年2月24日（1995年）	公共建設残土センター事業開始
平成8年4月1日（1996年）	倉敷資源化センター事業開始
平成10年9月30日（1998年）	寄島干拓地埋立処分終了
平成11年3月31日（1999年）	下水汚泥中間処理（セメント固化）事業終了
平成11年4月1日（1999年）	水島クリーンセンター供用開始（下水汚泥等焼却事業）
平成14年5月30日（2002年）	岡山県地球温暖化防止活動推進センターに指定
平成16年3月26日（2004年）	岡山県循環資源総合情報支援センターに指定
平成18年12月26日（2006年）	公共関与臨海部新処分場建設工事着工（第2処分場）
平成19年4月1日（2007年）	岡山県自然保護センターの管理運営を開始
平成19年6月1日（2007年）	岡山市街地に環境学習センター「アスエコ」をオープン
平成21年4月1日（2009年）	公共関与臨海部新処分場埋立開始（第2処分場）
平成24年4月1日（2012年）	公益財団法人へ移行
平成25年5月7日（2013年）	第1処分場第3工区埋立竣工（366,003平方メートル）
平成27年3月11日（2015年）	エコアクション21地域事務局に認定
平成28年4月1日（2016年）	津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザの管理運営を開始
令和2年4月1日（2020年）	エコアクション21中核地域事務局に認定
令和5年5月27日（2023年）	イオンモール岡山に環境学習プラザ「アスエコ」を移転オープン
令和5年10月1日（2023年）	みずしま資源再生センター供用開始（焼却灰資源化事業）

認証取得・指定

エコアクション21（環境マネジメントシステム）認証取得
平成29年9月にエコアクション21の認証を取得しました。エコアクション21は、環境リスクの低減及び環境への貢献と経営の両立をめざすマネジメントシステムの国内規格です。

ISO/IEC 17025認定取得
平成21年6月に環境調査分析部は、「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」におけるISO/IEC 17025の認定を受けました。ISO/IEC 17025は、試験所又は校正機関の能力に関する一般要求事項を規定した国際規格です。

『岡山県自然保護センター』指定管理
「公施設指定管理者制度」に基づき、平成19年4月から「岡山県自然保護センター（和気町）」の運営管理を行っています。

優良産廃処理業者認定
平成23年11月から「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物処理業の優良基準に適合していることの認定を受けています。

土壌汚染対策法に基づく指定調査機関
土壌汚染対策法に基づき、平成15年から土壌汚染の法定調査を行うことのできる機関として指定を受けています。

『岡山県地球温暖化防止活動推進センター』指定
「地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年制定）」に基づき、岡山県知事から平成14年5月に『岡山県地球温暖化防止活動推進センター』の指定を受けました。センターは地球温暖化の防止に取り組む県民の皆さんを支援します。

『岡山県循環資源総合情報支援センター』指定
「岡山県循環型社会形成推進条例」に基づき、平成16年3月に「岡山県循環資源総合情報支援センター」の指定を受けました。センターは、循環資源に関する情報を提供し、循環型社会の形成を支援します。

『エコアクション21中核地域事務局』認定
令和2年4月にエコアクション21中央事務局(一般財団法人持続性推進機構)からエコアクション21中核地域事務局の認定を受けました。地域事務局として、事業者の皆様の環境活動への取組を支援します。

『津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ』施設運営
平成28年4月から津山圏域資源循環施設組合の受託を受け、津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザの管理運営を行っています。環境の大切さを知るために、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設です。

エコアクション21
認証番号0011996

Testing LAB
RTL02920

試験所：公益財団法人岡山県環境保全事業団　環境調査分析部　認定範囲：化学試験・産業廃棄物分析（産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法）Cd:JIS K 0102 55.3(2016)・Pb:JIS K 0102 54.3(2016)・Se:JIS K 0102 67.3(2016)

エコアクション21
地域事務局1-060

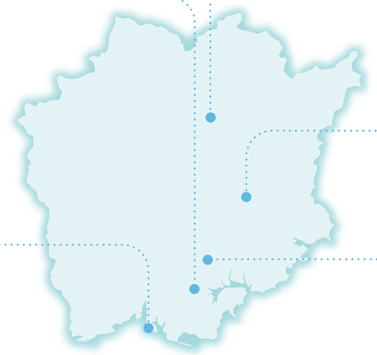
公益財団法人
岡山県環境保全事業団

内尾事務所
〒701-0212
岡山県岡山市南区内尾665-1

代　表	TEL.086-298-2122 FAX.086-298-2496
環境創造部	TEL.086-298-1239 FAX.086-298-2496
資源循環事業部	TEL.086-298-2123 FAX.086-298-2496
環境調査分析部	TEL.086-298-2616 FAX.086-298-2617

水島事業所
〒712-8074
岡山県倉敷市水島川崎通1-18
TEL.086-440-0666
FAX.086-444-2933

資源選別所	TEL.086-447-4850 FAX.086-444-4575



津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ
〒709-4611
岡山県津山市領家1446
TEL.0868-57-0153
FAX.0868-57-2226

岡山県自然保護センター
〒709-0524
岡山県和気郡和気町田賀730
TEL.0869-88-1190
FAX.0869-88-1195

環境学習プラザ「アスエコ」
〒700-0907
岡山県岡山市北区下石井1-2-1
イオンモール岡山6階
TEL.086-230-1333
FAX.086-230-1334